

1 月市長定例記者発表要旨

と き 平成29年1月6日（金） 11時～12時

ところ 庁議室

1 新年を迎えて

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年末に、次期市長選挙への不出馬を発表させていただきました。残された期間は、平成 29 年度の予算編成が大きな仕事になろうかと思えます。

「市長を辞する時には借金を残さないように」と心がけてまいりましたが、幸い、財政の健全化の道筋をつくることができましたと考えています。

悔いが残るとすれば、人口減少に歯止めがかからないことです。これは今後の大きな課題であります。この後もお話しいたしますバイオマス発電所の稼働は、農林業の振興にもつながるものです。また、水産業については、大手水産会社の事業所ができるなど、明るい話題もありました。そのほかにも、地域の独自性を出した振興策、定住促進、子育て支援など、取り組むべき課題は山積しております。市長として、あと3か月、全力を尽くしてまいりたいと考えています。

2 大手前開発事業基本設計及び管理運営基本計画の完成並びに市民参加による管理運営実施計画の策定について

この度、大手前開発事業で整備する「(仮称) 大手前まちづくり交流館」及び「(仮称) 大手前広場」の基本設計と管理運営基本計画を策定しました。

(1) 基本設計における施設の概要

(ア) 建物階数：地上3階、地下1階

(イ) 延床面積：6,329 m²

(ウ) 主な諸室（資料4～12 ページ）

- ・多目的ホール（大）：806 席（最大 988 席）、一部可動席、平土間使用可
- ・多目的ホール（小）
- ・食育活動支援室
- ・市民協働センター
- ・子育て支援室
- ・スタジオ
- ・会議室
- ・実習室（体験工房）
- ・フリースペース

(エ) 大手前広場面積：約 1,500 m²（資料 13 ページ）

(オ) 事業費：約 75 億 9,000 万円（資料 17 ページ）

(カ) 開館予定：平成 32 年度

[中間報告からの主な変更点]

- ① バスターミナル周辺のバスルート
- ② 商業施設（地元地権者3店舗が整備）

③ 多目的ホール2階部分の席を、音楽関係の催しを行う際には最大988席の利用可

(2) 管理運営基本計画（資料14ページ）

管理運営基本計画は、施設の管理運営の基本方針、事業計画、運営体制計画等を定めています。

(3) 今後の動きについて（資料15～16ページ）

今後は、建物の実施設計に着手するとともに、施設の具体的な管理運営について定める「管理運営実施計画」の策定に取り組みます。

特に管理運営実施計画については、有識者や市民代表で組織する検討委員会を立ち上げるとともに、食育、子育てなど諸室の機能に連動した検討部会を設置します。各検討部会のメンバーは市民から公募し、実施計画の検討段階で市民に参加していただくことにより、施設の運営や事業の企画運営に市民が主体的に関わる仕組みづくりと開館に向けた機運の醸成を図ります。

今のところ、2月に公募を行い、平成29年度から活動を進めていく予定です。

3 バイオマス発電所の竣工・安全祈願式典について

平成27年2月から本市戸穴^{ひあな}の太平洋セメント株式会社大分工場佐伯プラント内に建設していた、国内最大級の発電能力を持つ木質バイオマス発電所が完成し、去る11月18日に商業運転を開始しました。

同発電所は、新電力のイーレックス株式会社（本社：東京都中央区）の子会社であるイーレックスニューエナジー佐伯株式会社が、約160億円を投資して建設したものです。

これに合わせ、1月27日（金）、発電所の竣工・安全祈願式典を執り行うこととなりました。

新たな発電所の稼働は、地域における新エネルギー産業の育成、燃料である「ヤシ殻」の荷揚げを行う佐伯港の利用促進等につながるものであり、本市経済の振興発展に大いに寄与するものと期待しております。